

## 議事（１）「250 万円以下の建設工事に係る入札結果の公表」について

### 1 250 万円以下の建設工事等における入札の現状について

本市では、『「契約関係事務の適正化について（例規通達）」の制定について』に基づき、京都府電子入札システムで入札を執行している 250 万円を超える工事及びコンサルについては入札結果を京都府電子入札システムや、本市のホームページ（市 HP については独自の様式）で公表しています。

250 万円以下の案件については、例規通達での記載や、紙による対面式の入札を実施していることもあり、入札結果の公表は実施していません。

しかし、令和 3 年 4 月から新型コロナウイルス感染予防対策や、入札の透明性を図るため、250 万円以下の入札についても電子入札に移行し入札を執行しております。

電子入札の移行により、入札予報を京都府電子入札システムや、本市のホームページに公表することとなったため、指名業者以外の業者や一般の方にも閲覧できるようになりました。しかし、入札結果については、例規通達に基づき、これまで同様に公表していなかったため、入札結果の公表が課題となっていました。

近隣市町村においても電子入札を実施している全ての案件について、公表されています。

### 2 公表の改正案

令和 4 年 4 月から、電子入札における入札結果について全ての案件について、入札結果の公表を実施します。

### 3 公表方法

京都府電子入札システムに入札結果を公表するとともに、本市ホームページへの公表については、京都府へのリンクを貼付け、事務改善も図ります。

改善することにより、入札の透明性や公平公正な入札制度の推進を図ります。